

きょうだいの日

第6回
〜
第10回

8 手探りで続けていった「きょうだいの日」。シブレンジャーをしてくれるボランティアさんたちとも、どんどん仲良くなり、「もっとレンジャーを頼ってくれたらいいですよ」と言ってくれるレンジャーさん、自分の担当するカラーと同じ色の服で来てくれるレンジャーさん、会場の飾りをつくって来てくれるレンジャーさん、嬉しいことが次々に起こりました。そして、シブレンジャーだけでなく、来てくれるきょうだいさんやご家族の方々にも「今日はみんなで楽しむぞー!」という気持ちで、最初から笑顔で来てもらえるようになりました☆

続けて来てくれているご家族同士がなんとなく仲良くなり、特にお父さんたちがはりきってくれる雰囲気には何度も助けていただきました。

第1回の「きょうだいの日」から続けてきた一般の方向けの講座は、第8回で最後になりました。最後ということで、東京や名古屋など遠くから来てくださった方もいて、感激しました。講座は、広くきょうだい支援の必要性を伝えるためだけでなく、きょうだいさんを預けてくださる親御さんたちに、私たちがどんな思いでどんなことをしているのかを伝えるためにも、可能なら続けていければよかったのですが…。

講座の分の空いた時間は、親御さんどうしの交流のひとつになっていきました。

キッコマン現る!

新しく入ってくれたレンジャーさん。ニックネームを聞くと、まさかの「キッコマン」。それを聞いていた別のレンジャーさんが、これまたまさかの「しろう油屋さん」の前かけコレクターで、あれよあれよという間にキッコマンのあれよという間にキッコマンのデザインが決まり、なぞのキャラクターとして「きょうだいの日」デビューすることになったのでした。

時々この画用紙メガネと前かけマントを「貸して〜」と言ってコスプレしてくれるきょうだいさんもいました☆



シブレンジャーロボ現る?!



説明しよう!
しづたねは、シブレンジャーの作戦行動を支援するため、極秘裏に等身大ロボを開発していた!
写真は、起動中の開発1号機「プロトタイプシブレンジャーロボ」
「きょうだいの日」ではきょうだいさんたちと一緒に耐久テストを行うために登場した。

実際は…
両面テープを貼ったロボに2色の色紙玉を投げつけ、よりたくさんくっついてた色のチームが勝ち、というゲームだったのでした。



2種 ちしき

シブレンジャーロボ、もともとは子どもたちがレンジャーさんを追いかけたら楽しいかな?という、とってもそぼくな発想から思いついたゲームでした。その時点で代表が思いえがいていたロボットはこんな…(要は箱だけ)



しかし「シブレンジャーロボ」と聞いて火がついてしまったシブレッドの魂は、何日も何時間もかけて、←こんなロボットをつくりあげてしまったのでした…。

たくさんの ありがとう

「きょうだいの日」は、たくさんの方々の支えで続いていました。会場だった「中央青年センター」の職員の方々は、何にも知らない私たちに、企画書の書き方から、チラシの作り方、印刷機の使い方、紙の数え方、チラシの送り先…基礎からひとつひとつ教えてくださいました。この時期の中青の方々のお力添えが、しづたねの「事務力」の基礎になったのだなあと振り返って思います。

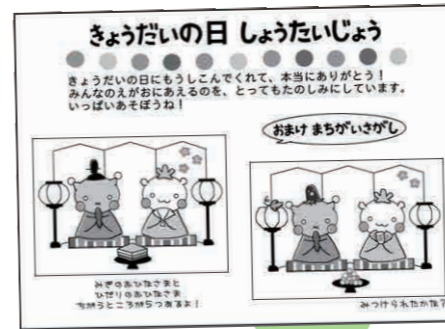
中青の隣の結婚式場「パル法円坂」さまの喫茶スペースは、いつも「きょうだいの日」のスタッフ＆ボランティアさんの振り返り会の会場になっていました。パルさんの社長さんはいつも優しく遅い時間までスペースを貸して下さり、ついにはきょうだいさんたちにジュースの差し入れまでして下さるようになり…しづたねの「あしながおじさん」として、今も支えてくださっています。

可愛い小物や雑貨でおなじみの「PLAZA」のプラザスタイルカンパニーさまが「ハートフルバード」という社会貢献活動で、ステッカーアートを届けてくださった回もありました☆とっても可愛く綺麗なシールをたくさん持って来てくださって、きょうだいさんも、保育の部屋の子どもたちも、目をキラキラさせて、いくつも作品を作りました☆



きょうだいさんは、シブレンジャーだけでなく、たくさんの人の「あなたのがんばりを知ってるよ」「あなたのこと応援してるよ」の気持ちに包まれて、「きょうだいの日」のひとつときを過ごしてくれていたのです。

きょうだいさんに送る「きょうだいの日」の招待状。「きょうだいの日」は年2回しかないの、少しでもあわくあわくすることが増えるといいなと思って作り始めました。せっかくなので、何かちょっと楽しいもの、親御さんときょうだいさんとであそべるもの、入れたいなと思って作っています。



↑これはちょっと
華しかったそう。
ごめんねー



風船×子ども×落書きの可愛さ!



ミニレンジャー誕生?